

事業番号	02 02 01	事業改善シート（令和元年度実施事業分）	当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	■点検
事業名	地域情報化推進事業費（先端技術活用推進課分）	部局	企画振興部	課・室	先端技術活用推進課	
		実施期間	H24～	E-mail	sentan@pref.nagano.lg.jp	
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）						
8つの重点目標	労働生産性					
総合的に展開する重点政策	1-1 生きる力と創造性を育む教育の推進 2-6 郷学郷就の産業人材育成・確保 3-7 先端技術の積極的な活用・導入					

1 事業の概要

事業の現状・目指す姿（予算編成時）	【現 状】 ○未来の長野県を担うICT人材育成の取組や先端技術の活用が広がりつつある。 【目指す姿】 ○未来を担う子供・若者にICT利活用の素養と感性を身に付ける機会を提供し、高度なICT人材の育成に資する。 ○人口減少や担い手不足、公共交通の疲弊等、様々な問題を抱える中山間地域に対し、先端技術とシェアリングの考えを取り入れ、持続可能な地域の構築に資する。 【実施内容】 ○未来の長野県を担うICT人材の育成を支援するため、若年層向けのアプリケーションコンテスト及びハッカソンを大学、民間企業等と連携して開催。 ○先端技術を活用し、中山間地域のヒト・モノの移動課題を解決するため、AIを活用したデマンドシステムによる実証事業を実施。					
	指標及びその達成状況〔△：改善、▽：悪化、→：変化なし〕					
No	成果指標	H29年度	H30年度	R1年度	目標値	達成状況
1	アプリコンテスト参加応募作品数	60件	68件△	74件△	70件	達成
2	ハッカソン参加人数	—	—	17人	30人	未達成
3	実証によるデマンドシステム利用者満足度	—	—	100%	50%	達成
4						
成果指標設定理由		1, 2 未来の長野県を担うICT人材の育成を支援するハッカソン及びアプリコンテストの参加応募作品数を設定 3 実証によるデマンドシステムの有用性を評価するため、利用者満足度を設定				
達成状況の分析		1 公式ホームページやSNSでの情報発信による広報を強化した結果、目標を上回る応募を獲得した。 2 小学生から社会人まで幅広い年代層が参加したが、募集期間終盤に令和元年東日本台風の被害もあって申込みが伸び悩んだ。 3 事前の住民向け説明会や、委託事業者の運転手等の細やかな配慮もあり、高い満足度を獲得できた。				

主な取組	✓未来の長野県を担うICT人材の育成を支援 ○ハッカソンの開催 ・県の観光・交通アプリ「信州ナビ」の利用データを題材に、「データの読解→課題抽出→課題解決のためのアプリ開発」までを2日間で集中的に実施 ○アプリコンテストの開催 ・令和元年度で5度目の応募件数は、 過去最多74件					
	✓中山間地域のヒト・モノの移動課題を解決するため、デマンドシステムによる実証事業を実施 ・住民からは 「自宅まで来てくれるから既存公営バスより便利」 「病院や買物などのほか、遠方から親戚が電車で訪れたときの足としても重宝している」など 概ね良好な反応					



2 今後の事業の方向性

	課 題 等	今後の方向性
今後、事業をどのようにしていきたいか	・現在においても、県内におけるプログラミング教育等のICT利活用の素養と感性を身に付ける機会が少ない状況であり、更なる拡大が必要 ・デマンドシステムの実装に向けては、運用面や費用対効果等、更なる検証が必要	・引き続き、県内における若年層のプログラミングの教育機会を確保するため、若年者層を対象としたアプリケーションコンテストの開催等を民間事業者等と連携を図りつつ実施 ・デマンドシステムの実証事業を通して、中山間地域のヒト・モノの移動課題を解決するための交通サービスの在り方について検証を引き続き実施

事業番号	02 02 01	細事業一覧（令和元年度実施事業分） <input type="checkbox"/> 当初要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input type="checkbox"/> 補正予算案 <input checked="" type="checkbox"/> 点検			
事業名	地域情報化推進事業費（先端技術活用推進課分）	部局	企画振興部	課・室	先端技術活用推進課

細事業 No.	細事業名		H30年度 決 算	R 1 年度 決 算
1	未来の I C T 人材育成支援事業費		304 千円	550 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施 方法	令和元年度 実施内容(実績)	
1	データ利活用人材育成ハッカソン開催	直接	未来の長野県を担う I C T 人材の育成を支援するため、データ利活用人材育成ハッカソンを開催	
2	アプリコンテスト開催	直接	未来の長野県を担う I C T 人材の育成を支援するため、「信州未来アプリコンテスト 0（ZERO）」を大学、民間企業等と連携して開催	

細事業 No.	細事業名		H30年度 決 算	R 1 年度 決 算
2	中山間地域の課題解決に向けた先端技術実証事業費		— 千円	9,092 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施 方法	令和元年度 実施内容(実績)	
1	実証運行サービス委託費	委託	先端技術を活用し、中山間地域のヒト・モノの移動課題を解決するため、A I を活用したデマンドシステムによる実証事業を実施	